



myVerifist 2026

デジタルID時代に向けた成長戦略
(2026年5月20日)

株式会社フライトソリューションズ
FLIGHT SOLUTIONS Inc.

| myVerifist 2026

1. myVerifist 誕生の背景
2. myVerifist の歩み
3. 市場環境と当社の優位性
4. myVerifist の進化
5. 収益モデルと今後の展開

1. myVerifist 誕生の背景

- マイナンバーカード普及を背景に対面本人確認ニーズが拡大
- 対面本人確認のモバイル化ニーズに注目し、myVerifistを開発

従来の（2020年初期）課題

- 大型の専用端末が必要
- Windows PC 中心
- 可搬性に課題
- 導入負荷が高い



専用端末の調達・
導入コストが高額



特定OSに依存し
運用が限定的



場所を選べず
運用が非効率



端末設定や環境構築に
時間とコストがかかる

時間・場所・機器制約のある本人確認



「myVerifist」

- iPad 活用
- モバイル対応
- 対面本人確認
- 多様な公的証明書対応



既存端末で導入コスト
を抑え、運用も簡単



どこでも
本人確認が可能



その場で確実に
本人確認を実現



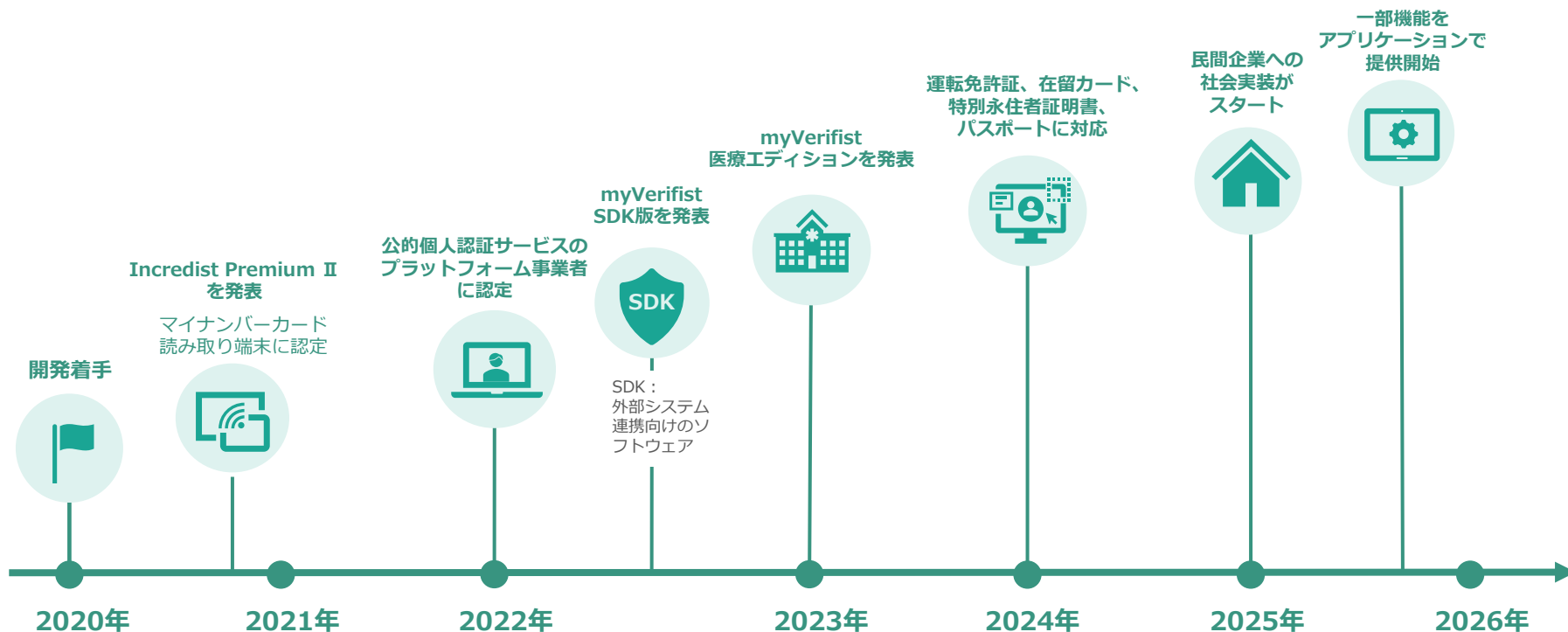
マイナンバーカードをは
じめ多様な証明書に対応

モバイル活用による柔軟な本人確認

決済分野で培ったモバイル活用ノウハウを本人確認領域へ応用

2. myVerifist の歩み




- サービスの拡充を通じて、社会実装と事業成長を加速



認証技術の強化と対応範囲を拡大し社会実装フェーズへ移行中

3. 市場環境と当社の優位性

- デジタル化進展と不正対策強化を背景に、厳格な本人確認需要が拡大
- 対面でプラットフォーム事業者認定を取得しているのは当社のみ
- 先行性を活かし想定導入業界への導入拡大を推進

市場環境	当社の優位性	想定導入先
<ul style="list-style-type: none">● 犯罪収益移転防止法改正● IC真正性確認二一ズ● 対面本人確認需要の拡大● デジタルID活用拡大 <p>なりすましなどの特殊詐欺認知件数</p> <p>27,758件※</p> <p>(2025年の1年間)</p> <p>※出典：警察庁</p> <p>マイナンバーカードの人口に対する保有枚数率</p> <p>82.7%※</p> <p>(2026年4月末時点)</p> <p>※出典：総務省</p>	<ul style="list-style-type: none">● 対面認定 2026年5月時点、当社調べ● モバイル対応 iPadを活用し場所を選ばない本人確認を実現● 公的証明書対応 多様な公的証明書に対応● SDK + アプリ化 外部サービス連携を容易化	<ul style="list-style-type: none"> 携帯ショップ 金融機関 不動産店舗 宝石・貴金属等取扱事業者 <p>本人確認が求められる多様な業界・業種</p>

4. myVerifist の進化

- 主要機能群について、2026年度末を目途に整備を進め、導入拡大に向けた基盤構築を推進

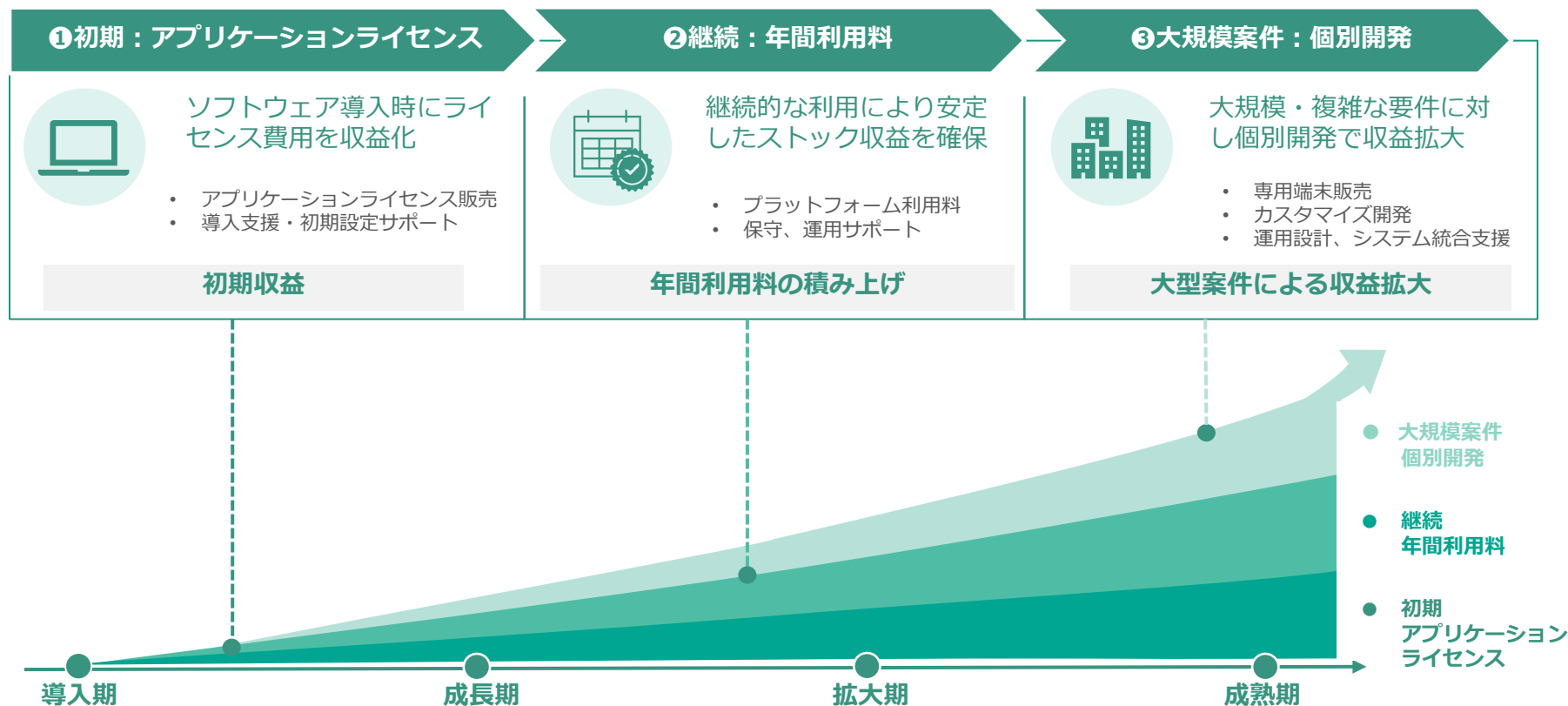
今後の機能進化※	期待される効果	
● 真正性確認の強化 (運転免許証の追加)	真正性確認	継続利用型収益への展開 * 2026年12月サービスイン予定
● アプリフル機能化	アプリ化	導入拡大の推進 * 2026年10月完成予定
● 非対面对応	非対面对応	利用シーンの拡大
● 第二世代在留カードへの 対応	第二世代 在留カード対応	制度変更対応力の強化
● Android搭載マイナンバー カードへの対応	Android版 mdoc対応	利用環境の拡大

※現時点での事業環境および計画に基づくものであり、今後の進捗等により変更となる可能性があります。

法改正やデジタルID進化に対応しながら機能拡張を継続

5. 収益モデルと今後の展開

- 小規模導入から継続利用、大規模案件まで多層的な収益構造を構築し、安定的かつ持続的な成長を目指す



3つの収益の柱で収益基盤を構築

